



あじ研夏の風物詩。今年も多くの実習生がアジ研2階の特等席から花火大会を楽しみました。

8月に入り、連日、猛暑が続いています。教室の中は快適な温度に保たれていますが、一步教室を出ると、むせ返るような暑さ。この猛暑を無事に乗り切るため、今月も、定期的な水分補給・バランスのとれた栄養摂取・十分な睡眠時間の確保の呼びかけています。

また、この時期は「おなかの健康」にも要注意。例年、自分たちが前日に作った物を食べて、おなかを壊してしまう実習生が少なからず出てきます。猛暑に加え湿度の高い日本の夏は、常に食中毒の危険と隣り合わせ。不慣れた自炊生活を余儀なくされている実習生の皆さんも多いので、なお更のことです。また、食べ残した料理を冷蔵庫に保存する習慣がない実習生もおり、テーブルや、ガスコンロの上に出しっ放しにされた食べ物が良く見かけられます。そこで、今月は、「食べ残し」「ラップ」「れいぞうこ」等をキーワードに、食べ残した料理は、必ず冷蔵庫に入れて保存することを徹底して呼びかけています。

## あじけんスコープ Vol.24 ～食品衛生管理セミナー実施～



ラップの使い方は基本のき



まな板の衛生管理も大切です



100均でも買える除菌スプレー等の便利グッズも紹介されました

冒頭でもお知らせした通り、アジ研で暮らす実習生の皆さんは、自炊が基本となっていることもあり、8月は、特に食品衛生管理に気を配らなければなりません。そこで今年は、初めての試みとして、食品衛生に関するセミナーを開きました。講師は、実習生の生活指導も担当しており、主婦としての経験も豊富な本校日本語講師の林先生。セミナーは厚生労働省から出されている食中毒に関するガイドライン（パンフレット「家庭でできる食中毒予防6つのポイント」）をもとに、各国語の通訳を介して行なわれ、主に食べ残した料理はラップを掛けて冷蔵庫へ保存、食品の再加熱の大切さ、まな板や包丁等生ものを扱う調理器具の衛生管理などについて話されました。

参照：厚生労働省ホームページ

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/)

## 今月の実習生

今月の実習生は、笑顔の素敵な、本校初となるカンボジアから来日した実習生 PROM KOMPHEAK（コンベイク）さんと IM NIRADEY（ニラディー）さんを紹介します。

本校スタッフもカンボジア人に関する知識がほとんどなく、来日するまでは、どんな人がやってくるのか、正に「想像もつかない」状態でした。ところが、いざ2人と対面してみると、ご覧の通りの明るい笑顔。覚えてたの日本語で、一生懸命にコミュニケーションを図ろうとするとても積極的な人柄で、本校スタッフもホッと胸をなでおろしました。そんな2人にこれまでの日本での生活についてインタビューしてみました。

- ・日本の街はとても静かで、安全で、安心して街が歩けます。人々がお互いを尊重し合いながら生活しているところも素晴らしいと感じています。（コンベイク）

- ・2人で道を歩いていたら、私たちの前で車が止まり、道を譲ってくれました。カンボジアではバイクや車が優先的に道路を使っているので、最初は本当にびっくりしました。ルールを守って暮らしている日本人は素晴らしいと思いました。（ニラディー）

※インタビューはクメール語通訳を介して行なわれました。



# あじけん流日本語授業

今月のあじけん流日本語授業は、ちょっとした工夫で、授業がより楽しく、コミュニカティブになる教室活動の実践例をご紹介します。準備するものは、短冊形にカットした色紙と、リボン付きのギフトボックス。ギフトボックスは100円ショップなどで売っている簡易なものにリボンを付けたとてもシンプルなものです。この2つの教具は「誕生日、おめでとう！」と題したコミュニケーション活動で用いられます。

まず誕生日役の実習生は教室の外に出ます。そして、他の実習生は色短冊に自分があげたいプレゼントを書き、箱の中に入れます（STEP1:「あげます」の練習）。全ての実習生がプレゼント（色短冊）を入れ終わると箱のふたを閉め、リボンを結びます（STEP2:「はこ」「ふた」「むすぶ」「ほどく」等技能実習の現場で頻繁に耳にするとされる基本単語の練習）。次に、それまで教室の外で待っていた誕生日役の実習生が教室内に呼ばれ、プレゼントを手渡されます（STEP3:「ほんのきもちです」「どうもありがとうございます」などの、日本語コミュニケーションを円滑に行なうために必要な表現の練習）。最後に、誕生日役の実習生は箱の中からプレゼントが書かれた短冊を取り出し、もらった物をクラスメイトに報告します（STEP4:講師がファシリテーターとなり、誕生日役の実習生とプレゼントを贈った側の実習生から、プレゼントに関する多くの情報を引き出すことで、より実践的なコミュニケーション活動が可能となります）。

## STEP:1

私はティエットさんに、  
ケータイをあげます。



## STEP:2

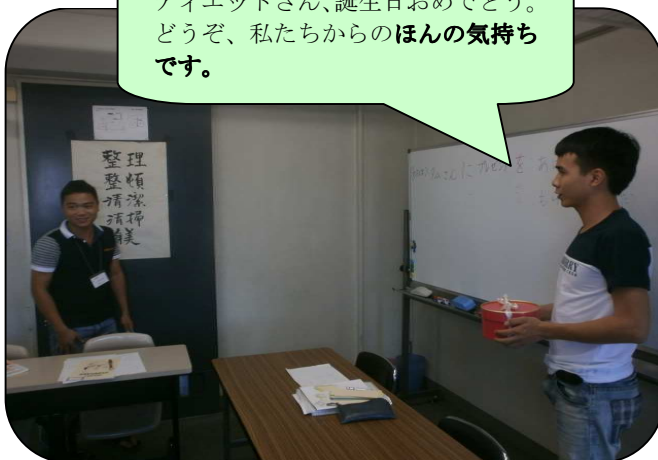
ルアンさん、リボンむすんで！



ティエットさんのケータイは古くて、ワイファイができません。かわいそうですね。

## STEP:3

ティエットさん、誕生日おめでとう。  
どうぞ、私たちからのほんの気持ちです。



## STEP:4

私はタムさんから、ケータイをもらいました。



タムさん、どうしてケータイをあげたの？

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます